

～ ご自由にお持ち帰りください ～

連合会広報誌

第34号

シルバーみやざき

シルバー人材センターで
お仕事、ボランティア、レクリエーション
充実したシニアライフを！



保冷トラックの電源の確認

宮崎カーフェリーにて

宮崎市
シルバー人材センター



船内での
ベッドメイキング

日向市
シルバー人材センター



布花講座のみなさん



人気商品のミニ門松

公益社団法人 宮崎県シルバー人材センター連合会

宮崎南高校新聞

仲間と共に シルバー人材センター 実際に見て感じた魅力

続けられるやりがい

トラックの長距離運転手を定年退職後、元職場の先輩に紹介されて宮崎市シルバー人材センターに登録したという森田良市さん。現在は宮崎カーフェリーで船内の客室やシャワー室の清掃をされています。仕事内容について「やりがいがあり、無理のない仕事だから長く続けられると思います。新しい船になったので、構造を覚える事がすこし大変です。」と話してくださいました。

今年でこのお仕事を始めて6年目になる森田さんは、慣れた手つきで素早く清掃を行っていました。清掃に関して「お客様が気持ちよく過ごせるように、見えない場所も綺麗にして抜けが無いように何度も確認しています。」と笑顔



森田良市さん



ベッドメイキング

でお話される場面も。ベッドメイクのコツは何ですかという質問には「客室のベッドのほこりや食べかすに気をつけること」と細やかな気配りも忘れない仕事への意識を見せてくださいました。

健康的な生活へ

シルバー人材センターに登録してよかったことについて「たくさんありますが、良い生活リズムを作れるところですね。寝る時間や起きる時間がきまり、体を動かすこともできるので健康的な生活ができています。仕事の後は、趣味の魚釣りをしています。」と楽しそうに話してくださいました。

また、森田さんは仲間との作業が楽しいとおっしゃっていました。仲間と笑いあう時間も、健康な生活に役買っているのかもしれない。夏休み中などは団体のお客様がいらして忙しくなることもあるそうですが「仲間との連携を大切に仕事を行うことで、その忙しさも楽しくなるんです。」とポジティブな心の持ち方も見せてくださいました。

もう一つのエンジン

今回は派遣の依頼者である宮崎カーフェリー株式会社代表取締役社長 郡司行敏さんにインタビューさせていただきました。なんと、郡司社長は私たちが属する宮崎南高校の先輩でいらっしゃいます。後輩として身が引き締まる想いで取材させていただきました。

郡司社長は、シルバー人材センターの方達に来ていただいていることを「清掃もとても大切な仕事であり、なくてはならないものだ。頭が下がる思いだ。」と話してくださいました。宮崎カーフェリーは今年の10月から新船を導入します。旧船とは違い、全長は170mから194mに大きくなり、個室も7倍の数に増え、今以上に清掃が大変に



新船と珍しい青いポスト

なると考えられます。また郡司社長はシルバー人材センターの方々のことを「もう一つのエンジン」とも語っていました。フェリーに乗ったときにお客様が一番重要視するのは、船上での快適さです。快適さは、一つ一つの部屋の清潔さや大浴場のきれいさなどからつくられます。

利用してくださったお客様が最も身近に感じる快適さはシルバー人材センターの方たちのお仕事で成り立っているものであり、本当になくってはならないものなのだと感じました。

また、新船の導入は25年ぶりだそうです。社内でも新船の設備や内装についてたくさん話し合ったそうですが、特に女性社員の意見を取り入れました。シャワー室やベビー室、ペットも一緒に利用できる部屋など今までになかった新しい内装を設けています。コロナ禍ということもあり、個室化にも力を入れたそうです。また「バリアフリーの船」も目指し、バリアフリー研修会を行い、誰でも自由に動ける船内にしました。いろんな人の意見を取り入れ、誰にでも優しい船を作ることが出来たとおっしゃっていました。

今回の取材で実際に船内を見たり、シルバー人材センターの方や郡司社長の話を聞いたりし、たくさんの人に支えられ、作られた船なのだということが分かりました。私たちも船に乗ってみたいと思いました。

宮崎南高校 新聞同好会の紹介

私たち宮崎南高校新聞同好会は、二人で活動しています。少し寂しいですが、どこの部活よりも明るく頑張っています。私たちが入学してきた頃には、新聞部は部員が1人もいなく休部状態になっていました。しかし私たちが立ち上がり、新聞同好会として活動を再開し始めました。二人とも未経験なので試行錯誤しながら頑張っています。

宮崎県赤十字血液センターの方と連携し、高校生に献血の良さを伝えたり、NIE 全国大会宮崎大会の取材を行ったりしています。



今回取材にご協力いただいた
宮崎南高校新聞同好会の皆さんと郡司社長
右から新聞同好会の齊藤晋太郎さん、柚木崎理沙さん、
宮崎カーフェリー(株)の郡司行敏社長(社長室にて)

せせらぎ水路(向原河川緑地)を磨く 公益社団法人 日南市シルバー人材センター

せせらぎ水路にシルバー会員さんが集まり、清掃作業に取り組んでいると聞き、駆けつけました。長靴をはいた人たちが棒たわしでこすっているのは水路底です。12人の方が足をリズムカルに運ばせながら、手を一斉に動かします。なかなかの見栄えです。

清くやや冷たい、この水。実は酒谷川の表層水そのものではなく、河原からくみ上げている地下水です。酒谷川が大きく蛇行している今町橋下の河川敷に、230mにわたって水路が設けられています。県が平成5(1993)年施工、翌年完成しました。子どもたちや市民の間では知られた”夏の遊び・憩いのスポット”となっています。

作業リーダーの後藤文良さんによると、この作業を70代、80代の人たちで、7月から週1～2回ほど、周囲の草刈りも兼ねてやっているとのことでした。汚れたところがだんだんきれいになっていく気持ちよさ、そして各自がもつ知識や技術を皆で学ぶ楽しさがあると語られました。清掃が終わる9月、皆が「来年もここで会おうや」と約束し、ふだんの生活に戻っていくそうです。



一息入れる

日南市シルバー人材センターの会員数は282(男198、女84)人。平均年齢75歳、最高齢92歳(男性)の会員が除草・剪定、清掃作業から学校給食の配達(派遣)などの作業にあたっています。特徴的なものとして高校生とコラボしながらの奉仕作業があります。

ところで定年延長や退職後も働き続ける人が増え、シルバー登録年齢が70歳以降となってきました。会員数を維持するため、会費を下げる決定をしました。年齢を重ねつつ、新しい知識や技術を身につけ、仲間をつくり、毎日を元気よく過ごそうと、入会を呼びかけています。

(広報委員 村田)



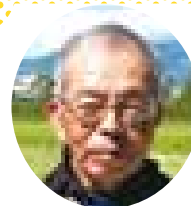
磨く、磨く、いっせいに

●会員の声



後藤 文良さん
(74歳)
シルバー歴4年

入会動機はシルバーには長生きしている人が多いと聞いたからです。目標をもって動き、人と交流するのが楽しい。ボランティア活動が趣味で、酒谷川周辺の草刈り活動では県知事表彰を受けました。朝の交通指導や放課後の見守り活動もやっています。晩酌は最近卒業、妻と二人暮らしです。



矢野 安男さん
(84歳)
シルバー歴24年

体を動かしつつ会話を楽しむことが健康に直結すると思い入会しました。市民や子どもたちの笑顔からエネルギーをもらっています。ふだんは週1日事務所で電話対応にあたっています。10年前から俳句作りにいそしみ、俳句大会(長崎)で「潮の目に一本釣りの鯉船」が賞に輝きました。妻と二人暮らしです。

衛生組合のワックス掛けに汗を流す 公益社団法人 川南町シルバー人材センター

川南町シルバー人材センターは、9月16日に「川南・都農衛生組合」のワックス掛けを受注しました。その作業風景取材しました。これは組合の建物内部の器材を撤去して清掃し、丁寧にワックスを塗る作業で、10名弱の会員が、2日かかりでやる仕事です。

川南町は、農業を基幹産業としている町で、センターの受注内容も農作業が多いとのこと。現在の会員数は162名(男性105名、女性57名)で、様々な受注に応えています。女性指名の受注が多いのですが、女性会員が少ないのが、今後克服すべき課題です。公共事業の割合は約17%で、県内では低い方です。ミニトマトやさといもなどの栽培農家の手伝いなど農作業が多いのですが、天候に左右されたりして見通しの立ちにくいところがあります。そんな中清掃作業は、安定的に受注が見込まれる仕事で、規模の大きいところでは同衛生組合が年2回、生涯学習センターが年2回、浄化センターが年1回、などとなっています。最近ではカラオケボックスの清掃作業も受注しています。県農業大学校やルピナスパークの植栽、草取り、剪定をはじめ、衛生公社への派遣業務で、ゴミ収集や不法投棄監視なども行っています。



川南・都農衛生組合



ワックス掛けの準備をする会員

定年延長の余波で、シルバー入会が高年齢化し、実働年数が短くなる傾向がありますが、軽トラ市や若者連絡協議会の「フェスティバル イン トロントロン」なども盛り上げ、元気のある川南町の一員として、頑張っておられます。ここ数年コロナ禍の影響で実施していませんが、軽トラ市のふるまいなどで、センターの宣伝広報を行い、会員拡大にも奮闘されているようです。

(広報委員 中川)

●会員の声



関原 節子さん
(80歳)
シルバー歴8年

入会のきっかけは、新聞チラシを見て。介護職を退職して時間が余ったので、第2の職場と思って入会しました。住宅清掃が中心の仕事ですが、町営住宅の室内清掃は年10回以上あって、仲間と楽しくやっています。何もせず家に閉じこもっているよりは、友人もたくさんできてやりがいを感じています。



奈須 ナガさん
(76歳)
シルバー歴4年

シルバー入会直前には、選果場で働いたこともありましたが、体力面で、農作業は向かないと思い、今はトロントロンドームの図書館やホールの清掃作業を専属で行っています。シルバーの喜びは何と言っても人との出会い。友人が多くできて会話が楽しくて楽しいです。体力的にはあちこち痛いところもありますが、続く限りやっていきたいです。

百済の里と西の正倉院 美郷町シルバー人材センター

美郷町は、2006年に旧西郷村・南郷村・北郷村が合併してできた町です。町庁舎は西郷にあり、シルバー人材センターは、南郷に事務所を構えています。2020年12月に宮崎県シルバー人材センター連合会に入会されました。会員数は47名で男性の方が多いようです。美郷町南郷は「百済の里」をキャッチフレーズに百済伝説をもとに街づくりを行っています。韓国の百済王朝が崩壊して宮崎に亡命し、父王が神門神社に、子王が木城町比木神社に祀（まつ）られています。子王の神体が父王に対面するため、神門を訪れる「師走祭り」が、毎年12月に行われています。また「西の正倉院」が設置され、奈良の正倉院とまったく同じ設計で、校倉造（あぜくらづくり）の施設を建て、資料館として活用し観光浮場に貢献しています。

センターは、町の委託を受け「西の正倉院」と「百済の館」の受付案内と施設管理を行っています。総勢8人で仕事を引き受け、時には利用者に頼まれ、観光案内も行っています。以前は別に町の観光ボランティアもいましたが、高齢化で存続が難しくなり、センターに依頼するようになったそうです。8名の従事者はベテランが多く、中には10年近く受付案内、料金収受の業務をこなしている人もいます。



西の正倉院

センター全体では、草刈の依頼が多く、一人暮らしの高齢者の家の清掃や剪定等も実施しています。また、全体の割くらいが町からの公共事業です。

会員確保は、口コミが中心ですが、草刈等の研修会を一般向けに開催したりしてその参加者に加入を呼びかけたり、広報チラシを配布するなどして、工夫しているそうです。また美郷町にはケーブルテレビ「キララビジョン」があり、その広報力にも頼っているそうです。

（広報委員 中川）



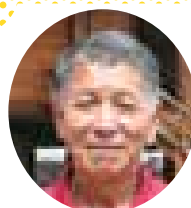
会員による西の正倉院受付

会員の声



芝元 一代さん
(81歳)
シルバー歴10年

シルバーに入る前から西の正倉院の受付管理を町から委託されてやっていましたが、町の方針でシルバーに委託することになり、そのきっかけでシルバーに入会しました。観光客との会話や、チームワーク抜群の仲間との会話で、楽しくやっています。コロナ禍の影響で観光客が減っているのが残念ですが、また盛り返すように頑張ります。



松田 龍磨さん
(70歳)
シルバー歴3年

きっかけは退職後、声をかけていただき、草刈から始めました。途中から西の正倉院の受付案内管理業務をするようになりました。今も草刈と並行してやっています。草刈は疲れますが、達成感が味わえるし、受付業務は観光客との会話が楽しいです。

連合会の取組

安全適正就業研修会

令和4年度安全適正就業研修会を、令和4年7月28日に宮崎市清武文化会館小ホールで開催。冒頭で、令和4年度安全標語入賞者の表彰式が行われ、入賞者に清則幸連合会会長より、賞状と記念品が授与されました。



研修会では、産業医でもある串間市民病院の江藤敏治病院長が「元気に健やかにシルバー人材活動楽しもう」と題して、お話くださいました。シルバー人材センターの活動で大切なことは、元気に出かけて、元気に帰宅すること。転倒による骨折を予防するための運動や食生活、熱中症や脳梗塞の予防など、内容は多岐にわたり、ユーモアにあふれ、脳トレなども交えた惹きこまれる講話で非常に勉強になりました。



令和4年度 安全標語入賞作品一覧

役職員の部

目指すのは安心・安全二刀流！
日南市SC 稲用 祐一郎

会員の部

いつも作業 慣れと油断が 事故まねく
日向市SC 原田 勝彦
最優秀賞

安全は 一人一人の ころがけ
綾町SC 猪野 友文
高千穂町SC 林 六夫
優秀賞

今日も一日安全就業
家で家族が待っている
小林市SC 山下 康一
最優秀賞

連合会で行った講習・体験・セミナー（高齢者活躍人材確保育成事業）



スマホ講習会



施設管理就業体験



清掃講習



草刈就業体験



調理補助講習



剪定講習

シルバーの お仕事紹介

シルバーのお仕事は草刈りや剪定、農作業、清掃だけではなく、その他にもいろいろなお仕事を引き受けています。

送迎・運転

- 病院や介護施設での利用者の送迎
- スクールバス、マイクロバスの運転
- 給食や配食サービスの配達・配送



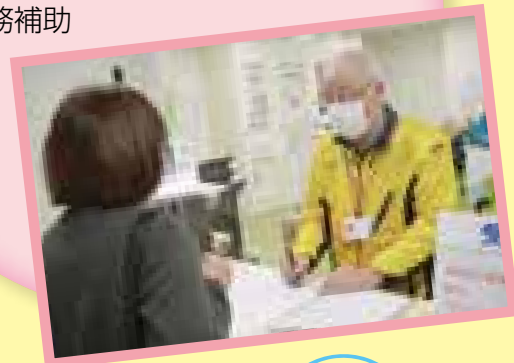
業務補助

- 病院や介護施設等での介護補助
- 病院や介護施設、宿泊施設等での調理補助
- ホームヘルプでの家事援助



受付や管理

- ビル、マンション等の建物管理
- スポーツ施設、公共施設等の受付事務
- 駐車・駐輪場の管理業務
- 事務補助



その他のお仕事

- 農作業、洗車、空き家・お墓管理、遺跡発掘作業など
- カート整理、袋詰め、ラッピング、梱包作業など



- 日頃より職員との間で確認事項を徹底しており、利用者様にも積極的に声掛け等をしていただいています。(老人保健施設での送迎)
- 従業員では手が不足しており、丁寧な仕事をしていただき助かっています。(庭園管理・除草作業)
- 指示に従い、的確で丁寧な作業をいつもしていただき大変助かっています。(スポーツ施設の維持管理業務)
- ベテランの方で仕事が上手、手軽に遠慮なく頼むことができます。(剪定作業)

発注者様の
声

入会やお仕事依頼についてのお問い合わせ・お申込みはお住いの市町村シルバー人材センターへ

センター名	電話番号
宮崎市	0985-25-1430
都城市	0986-25-1000
延岡市	0982-32-4642
日南市	0987-22-3707
小林市	0984-22-2440
日向市	0982-52-2200
西都市	0983-43-0171

センター名	電話番号
えびの市	0984-25-3411
三股町	0986-52-7150
国富町	0985-75-9003
綾町	0985-77-3200
新富町	0983-33-0919
川南町	0983-27-1945
串間市	0987-72-6977

センター名	電話番号
高原町	0984-42-2423
高鍋町	0983-23-4680
木城町	0983-32-3045
門川町	0982-63-0950
美郷町	0982-59-0787
高千穂町	0982-72-3663
日之影町	0982-87-2680

センター名	電話番号
西米良村	0983-36-1212
諸塚村	0982-65-0375
椎葉村	0982-67-2275
五ヶ瀬町	0982-82-1520

公益社団法人 宮崎県シルバー人材センター連合会

〒880-0024 宮崎市祇園2丁目95番地

TEL 0985-31-3775 FAX 0985-31-3776

令和4年12月発行

<http://www.miyazaki-scr.jp/>

宮崎県シルバー

検索

